

技術紹介

材料入荷から出荷まで、ブル精密はガラス加工に関するあらゆる工程をワンストップで行います。その中で、当社を代表するする加工技術を紹介致します。

精密研削

狙い値まで、正確に削り研ぐ

加工を行うに当たり、軸となる厚みを決めるのは基本にして品質の根幹であると考えます。当社では独自の技術を駆使し、高い精度にて仕上げることが可能です。

ロータリー研削加工



C/G加工



芯取加工



テーブル面に製品を並べて回転させ、ダイヤモンド砥石を当てて研削加工します。ワークスペースが広いので、大きなガラスや多くの小サイズのガラスを精度よく加工する事が出来ます。

カーブジェネレータ加工です。専用のダイヤモンド工具を使用し、レンズの曲面を形成する削り工程です。凹面凸面どちらでも、自在に曲率を変更でき、熟練の作業者によって高精度が保たれています。

ガラスを光軸と機械回転軸をに合わせて固定し、外周を研削・面取りを行う工程です。これにより、外周軸一光軸を同軸に合わせることが出来ます。

N/C加工

μ 単位にこだわる、ブル精密加工の中心部

外形加工や微細加工など、形状を決定づける加工には様々な手法があります。それらを網羅し、高品質・高精度に仕上げるのが、ブル精密のN/C加工です。

精密研磨

どの様な形状でも可能にする、蓄積された磨き技術

どの様なガラス製品であっても、ヒトに感動を与えるのは高精度で曇りなく研磨されたガラスです。光学製品であればその性能を、一般製品であれば美しさを、ブル精密は絶えることなく追及します。

その他

「このような加工は可能か」ブル精密に確認下さい！

上記以外にも、ブル精密は様々な要望に応えられるよう、多種多様な技術の引き出しがあります。「この特性のようなガラスが欲しいんだけど・・・」と思ったら、お気軽にご連絡下さい。